

移住推進事業

－No.6 秩父市－

【事業の目的】

本市では、都市部への人口流出や少子化による人口減少の進行が課題となっています。その課題解決策の一つとして、いわゆる日本版 CCRC を進めるための「秩父市生涯活躍のまちづくり構想（秩父版 CCRC 構想）」を策定しました。この構想では、事業を「総合的な移住政策」と位置付け、誰もが生涯健康で、活躍できるまちづくりを進めていくこととしています。移住による人口増加により、消費の拡大や医療・福祉・保健産業の活発化とそれに伴う雇用の創出、そして新しいひとの流れによる地域活動の活発化などを目的としています。

【事業の内容】

移住専門の部署を設置し、移住希望者の相談窓口としての対応や情報提供、お試し居住用居宅の整備・運営やお試し移住ツアー開催などを実施するとともに、市内にサービス付き高齢者向け住宅や高齢者の交流施設等の建設を行うための調査業務委託を行い、都市部の中高齢者が移住したくなるよう、医療や介護、生涯学習、社会参加の仕組みを整えていきます。また、移住者へのリフォーム費用補助制度や市外通勤費補助制度を構築します。

【事業年度】

平成 29 年度～平成 31 年度

【予算額(千円)】

55,370千円（平成 29 年度）

【財源】

地方創生推進交付金（国）、ふるさと創造資金（県）、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

人口の流出や少子化により人口減少が進んでいる中で、秩父地域での就業状況も芳しくなく、高校卒業後に大学進学のため地域を離れた若者が地元に戻って来ないという悪循環となっています。これまでは雇用創出のための企業誘致に力を入れてきましたが、大きな成果が得られておらず、人口の減少傾向、経済活動の停滞が続いています。そこで、本格的な移住政策を進めていくこととなりました。

【事業のPRポイント】

秩父地域で既に進めている「ちちぶ空き家バンク」を活用した、移住希望者への物件紹介を行うことが期待できます。

秩父版 CCRC 事業を「総合的な移住政策」と位置付け展開することで、単なる移住市全域において、幅広い年代を対象に、既存施設も活用したお試し居住や「二地域居住」を目指していきます。

〔 連絡先 〕

地域政策課

0494(22)2823